

ターモドク メモ

小児の感染性腸炎

脱水症状に注意を

赤ちゃんの胃腸炎に有効なワクチンがあるのを知っていますか。お母さんはロタウイルスの名前をよくご存知と思います。1歳前後の乳児に感染し、発熱、下痢、嘔吐、白っぽい便が特徴で、しんどくなると脱水になってしまい、中には入院するケースもあります。別名「乳児冬季下痢症」といいます。便にウイルスがいることで診断します。診療所でも約10分間で簡単に診断できます。感染力が強く、特効薬はありませんので、保育所などではやるとしてもやっぱり胃腸炎です。

医療が行き届かない国では、脱水のため赤ちゃんが死亡することもあります。そのためワクチンの開発が急務でした。数年前から全世界でロタウイルスに対するワクチンが実用化され、効果をあげています。ポリオのワクチンと同じ種類の口から飲むワクチンなので、注射針の痛みや恐

怖を赤ちゃんに与えることはありません。

日本ではどうかというと、まだこのワクチンは認可されておりません。日本で昨年末からヒブワクチンが任意摂取できるようになったことを考えると、ロタワクチンも近い将来、認可されることを期待したいところです。それまでは、赤ちゃんがロタウイルス腸炎になったら、オムツや嘔吐物の処理に注意し、大人にも感染しますので、手洗いをしっかりと行って感染が広がらないようにしましょう。赤ちゃんが嘔吐してもいいので少しずつ水分を与えましょう。ほとんどの場合、自分の免疫力と体力で治る病気ですが、もしぐったりしたら脱水症状かもしれません。小児科医に相談しましょう。

吹田市医師会

西野 淳司